

TFU 実学臨床研究 セミナー

# 東日本大震災から 20 年を見越した こども・若者支援

2023年 3月 2日 (木) 18時30分 ~ 20時

方法 Zoomによるオンライン開催 Zoom情報は後日送付します

講師 清水 冬樹 氏 (東北福祉大学総合福祉学部 准教授)

三浦 貴裕 氏 (project M) 東北福祉大学総合福祉学部福祉行政学科 1期卒業生

コーディネータ 野田 毅 (実学臨床研究セミナー実行委員/社会福祉法人東北福祉会せんだんの里 総合施設長)

阿部 利江 (実学臨床研究セミナー実行委員/東北福祉大学総合福祉学部 講師)

プログラム 情報提供 50分, 意見交換 20分

参加方法 無料 Web(Peatrix)申込み <https://tfu-jitsugaku-seminar22.peatrix.com/view>



## ◆ 第19回セミナー趣旨

東日本大震災から12年が経過しようとする中、一般社団法人東日本大震災子ども・若者支援センターの調査(2022)によると、中高生時代に被災を経験した子育て中の親たちへの支援課題が明らかとなっています。本セミナーでは、清水からこども・若者に対する被災による中長期的な影響について、復興施策のこども・若者支援の構造を示しながら明らかにしていきます。その際、国連子どもの権利委員会による一般的意見でも言及された、災害時のこども参加の価値について、中学校2年生のときに南三陸町で被災をした三浦さんの語りを手がかりに学んでいきます。これらの議論から、震災から20年を見通した支援を構築するために、今取り組むべきことについてみなさんと一緒に考えていきます。

## ◆ 講師プロフィール

### 清水 冬樹 (しみず・ふゆき)

東洋大学大学院修士課程修了後、東京都石神井学園で児童指導員として勤務。その後保育者養成校と社会福祉士養成校を経て現職。2022年3月東洋大学大学院博士後期課程修了。博士(社会福祉学)。専門はこども福祉。東日本大震災発災後、被災3県におけるこども・若者支援と調査研究に取り組み、現在はその知見を踏まえて地域におけるこども・若者支援をNPO等市民団体やまちづくりの観点から調査研究、ならびに教育を展開している。

### 三浦 貴裕 (みうら・たかひろ)

中学2年時に東日本大震災で被災。被災後、ボランティアや学習支援等、様々な支援を受け中学高校と生活を送る。支援を受ける中で多様な価値観に触れ、自身の進学やキャリアにも大きな影響を受け、高校卒業後は東北福祉大学福祉行政学科へ進学。学外活動として、震災語り部や南三陸に学生を連れていく学生ツアーの企画運営などで学4年間行なってきた。大学卒業後は、学外活動の経験を活かし宿泊研修スタッフとして一度地元に戻るも、町外での知識知見をさらに広げたいと思うようになり、現在は仙台で会社員として社会人生活を送っている。

企画・運営:TFU 実学臨床研究セミナー実行委員会

【お問い合わせ】東北福祉大学 TFU 実学臨床研究セミナー実行委員会事務局 (実学臨床教育推進室内)

TEL 022-717-3359 FAX 022-301-1293

E-mail [kenkyu-seminar@tfu.ac.jp](mailto:kenkyu-seminar@tfu.ac.jp) ※平日 8:30~17:30 までお問い合わせ(土日・祝日不在)